

ウ 世界の言語 I

(ア) 全体計画

「世界の言語I」では、1年次より中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の5カ国語を授業で「聞く」「話す」言語活動を中心に、8回ずつ学び、2年次よりスタートする「世界の言語II」で、上記の5言語からひとつを選択し、本格的に学習をスタートする予定である。

日本の高等学校における外国語教育は圧倒的に英語が優位であり、英語以外の外国語が占める割合は極めて少ない。しかしながら、英語以外の第2外国語の学習は、複数の言語やそれを使用する多様な他者への気づきと寛容な態度の形成、複数言語の比較によるメタ言語能力（自他の言語の相対性、類似性、相違性、などを意識化、言語化する能力）の向上、個人の複言語能力の言語レパートリーの拡大といった成果が期待される。

また、日本社会に目を向けても、在留外国人は270万人を超えており、そのうち中国、韓国、台湾、ベトナム、フィリピン、ブラジル、ネパールでほぼ80%を占めるといわれている。また、2018年の外国人観光客数は3000万人を超え、その85%超が、韓国、中国、台湾、香港、タイなどアジアからの訪問である。さらに、国際的な外交戦略として、特に対韓国、北朝鮮、中国、アラブ圏などとの関係は、近年大きな課題となっており、英語のみによる情報収集や交渉では限界があると言われている。このような中で、第2外国語を高校生のときから学ぶ意義は少なくないはずである。

1年次で学習する「世界の言語I」では、5カ国語を少しずつ学び、その言語の魅力や楽しさに気づかせて、2年次での言語の選択を決定するためにきっかけとすることを目的としている。考査は実施せず、評価も点数ではなく、文章で行う。言語の違いや特徴はあるが、どの言語においても共通する学習内容は①言語の歴史、②使用地域、③発音・文法の特徴、④数字、⑤文字、⑥方言である。としている。各授業の構成は以下のとおりである。

| 《授業の構成》 | 内容 | 指導者 |
|----------|--------------|-------------|
| 第1回（2時間） | 導入 挨拶や日常会話 | 日本人 |
| 第2回（2時間） | 導入 身近な内容 | 日本人 |
| 第3回（2時間） | 実践 実際に会話を試みる | 日本人 |
| 第4回（2時間） | 成果 まとめ | 日本人+ネイティブ教員 |

(参考)世界の言語I年間スケジュール

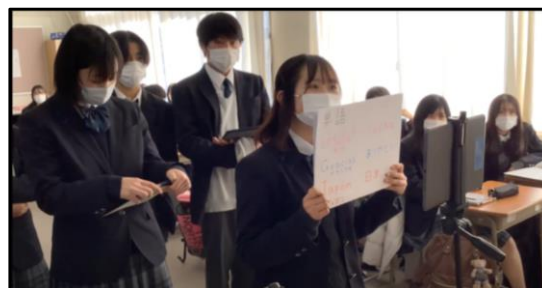
| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 |
|-------------------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 4月14日 | オリエンテーション (奈良教育大学吉村教授) | | | | |
| 4月21日 ～6月2日 | フランス語 | ドイツ語 | 中国語 | 韓国語 | スペイン語 |
| 6月9日 ～6月30日 | 韓国語 | スペイン語 | フランス語 | ドイツ語 | 中国語 |
| 9月15日 ～10月6日 | ドイツ語 | 中国語 | 韓国語 | スペイン語 | フランス語 |
| 10月13日 ～11月10日 | スペイン語 | フランス語 | ドイツ語 | 中国語 | 韓国語 |
| 11月17日 ～12月8日 | 中国語 | 韓国語 | スペイン語 | フランス語 | ドイツ語 |
| 12月8日 | 「言語の選択について」 (奈良教育大学吉村教授) | | | | |
| 1月12日 | 振り返り | 振り返り | 振り返り | 振り返り | 振り返り |
| 1月19日 ～1月26日 | 課題研究 | 課題研究 | 課題研究 | 課題研究 | 課題研究 |
| 2月2日 | 小学校とのオンライン交流 | | | | |
| 2月9日 | 次年度のオリエンテーション・手話講座 | | | | |

各言語は8時間 (週2時間×4週間) 実施。最終日はネイティブ教員とのTT

(イ) 世界の言語Iと小学校英語科とのコラボレーションについて

目的：世界の言語Iで学んだ5ヶ国語について、オンラインで耳成南小学校の6年生にプレゼンテーションをすることで、今まで学んだことを振り返り、より深い外国語学習の習熟を目指す。また、小学生に授業を行うという経験をする中で、自身のプレゼンテーション能力を向上させるとともに、チームで取り組むという経験をする中で協働性を養う。

日時：2022年2月2日（水）
5限 13：25～14：10



概要：

| 国際高校 | 小学校 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・1クラスで仏・独・中・韓・西を担当するグループ（1グループ6～7人程度）に分ける。 ・それぞれのグループがオンラインで授業する教材を作成する。（画用紙に書く。小学生にも理解できる内容にする。） ・当日は、クラスの前に設置したカメラの前で、自分たちのグループ担当の言語を順に6分程度でレクチャーする。（高校1クラス→小学6年生18人対象） ・レクチャー終了後は、小学生がgoogleformで共有したアンケート結果をみて、自身レクチャーについて振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生数名の自己紹介（英語）を高校生に送り、それぞれの言語での自己紹介を教えてもらうように依頼する。 ・6年生3クラス93人を5つ（高校のクラス分）に分ける。＝1グループ18人程度 ・それぞれのグループが、高校生1クラスから5つの言語のレクチャーを受ける。 ・アンケートに回答する。 ・それぞれが興味をもった言語で自分の自己紹介をロイロノートで録音（または動画を撮影）し、代表数名を高校へ送り見てもらう。 |

感想：

小学生

韓国語はローマ字と似ている所があって記憶力のない自分に一番いいと思ったから興味を持ちました。ドイツ語はごつい感じがあって個人的に好きな国であるから。スペイン語はAdiosがかっこ良かったから。

自分の聞いたことのない単語も多くてフランス語で「ありがとう」というのをじぶんもすこしきいたことがあったから他のことも知りたいなと思って興味を持ちました。

紙を見せてくれていたのでとても言いやすかったです。

絵を文字と一緒に書いてくれていたところと、クイズをやってくれたところがわかりやすかったです。

高校生

小学生に教えるとなった時に1番に考えたのは話す内容です。時間が少ない中でどれだけ内容が詰まってかつわかりやすいかを考えながら作るのはとても難しかったです。この経験を活かして外国の人と話す時には話す内容も大事だけどどのように伝えるかどうしたら相手の印象に残るかななどを重点的に考えていきたいと思いました。

今回の経験は、誰かに自分の想いをしっかり伝えたらその想い分の反応をいただけるということ、そこから、自分達の思いをシェアすることの大切さに改めて気づけた大切な機会だったなと思います。これからの言語学習では自分の考えを積極的に発言できるような学び場を作り、周りの人との意見の共有と尊重を大切にしていきたいです。